

## 平成29年度 第2回 蕨市立図書館協議会 会議録

開催日時 平成30年3月17日(土) 午前10時から11時42分まで

開催場所 蕨市立図書館 2階 おはなし会室

出席者 <出席委員>

町田敏子委員、堀越孝男委員、近江睦代委員、永井雅幸委員、宮田ゆみ委員、  
岡本和子委員、阿部仁委員、田中京子委員、石丸祥子委員

<事務局：図書館職員>

小栗館長、菅谷管理係長

傍聴人 0人

議題 (1) 図書館耐震補強工事について  
(2) 平成30年度事業計画及び予算案について  
(3) 蕨市子ども読書活動推進計画について  
(4) その他

会議経過

(1) 図書館耐震補強工事について事務局より報告

(質問) 工事期間中、駐車場や駐輪場は利用できるのでしょうか。

(回答) 正面入口の駐輪場スペースは、工事の資材置き場等で使用するため、閉鎖します。駐車場に関しては、まだ結論は出ていないが、一部は工事車両を駐車する必要があるかもしれません。駐輪場は建物北側のスペースを利用してもらうように考えています。

(質問) 工事期間中の貸し出しについて、インターネット等による予約はできないということですか。

(回答) 1階の一般書をはじめ、2階の参考・郷土資料、CD類は養生してしまうため、取り出すことができないので、ご不便をかけますが児童書以外の予約は難しいと考えています。

(質問) 新聞も閲覧できなくなるのでしょうか。

(回答) 新聞については、場所が離れてしまうのですが、塚越分館に5大紙のみ配架したいと検討しています。北町分館は勉強で利用している方が多いと聞いており、新聞をめくる音が気になる人もいるだろうということで、塚越分館に置けたらと思っています。

(質問) 公民館には新聞を置いていないのでしょうか。

(回答) 北町も塚越も埼玉新聞だけ配架しているようです。

(質問) 年配の方だと新聞だけ見に来る方も多いと思うので、塚越分館だけに置くとなると、図書館周辺のエリアの人たちは行きにくくなると思うので、例えば塚越分館と南公民館みたいに、複数置くことは難しいですか。

(回答) 新聞を配架した場合、読むスペースも確保しなければならないということと、先ほどの新聞をめくる際の音の観点から、ご不便をかけますが、工事期間中の3か月はご理解いただければと考えています。

(意見) 新聞に関しては、利用者の理解が必要なことなので、事前の周知徹底を図っていただきたいと思います。

- (質問) 雑誌を置く北町分館は現在、職員がいませんが、そのあたりの管理はどうするのでしょうか？
- (回答) 新刊の雑誌をブックトラック数台に置いて、図書館の開館時間に合わせて閲覧できるようにする予定です。開館時間外は北町の事務室にブックトラックごと置かせてもらえることになっているので、職員が交代制で常駐して分館内の書架整理などをしながら、管理したいと考えています。なお、運営は図書館の開館日に合わせるため、月曜日はお休みさせていただきます。
- (質問) 新聞を開く音がうるさいという苦情は実際にあるのでしょうか。
- (回答) 2階の読書室で勉強されている方が多いのですが、新聞だけでなく電卓やノートパソコンのキーボードを叩く音がうるさいといった苦情もあるので、気に障る人はいるかと思われまます。
- (質問) 先ほど、新聞は南公民館ではなく塚越分館に置くということでしたが、南公民館には図書を置いていないから難しいということなのでしょうか。
- (回答) スペースのことなどを検討した結果、塚越分館に配架させてもらうことにしました。
- (質問) 現在、図書館の本を置いている福祉・児童センターはどうでしょうか。
- (回答) 利用者の年齢層が違うため、難しいと考えています。
- (質問) 新刊図書に関しては、インターネット上で入荷状況の閲覧や予約もできなくなるのでしょうか。
- (回答) システム上で一般書か児童書かで予約の制限をかけることはできますが、新刊と既存の図書の棲み分けはできないので、一般書はすべて予約ができなくなる予定です。児童書の新刊については、配架もされますし、予約もすることが可能です。
- (質問) いつも休館日が続くときは、休館日前に本の倍貸を行っているが、今回の場合はどうなるのでしょうか。
- (回答) 今回も工事期間2週間前を目安に倍貸しを行いたいと考えています。
- (質問) そうすると、工事が終わった時に返却でかなりの混雑が予想されますが。
- (回答) 工事期間中は返却だけの人もカウンターで受け付けますし、開館時間外は返却ポストや分館のポストに返却することができるので、混雑は分散されると思います。
- (質問) 工事期間は3か月ということですが、(利用者の多い) 年末には間に合うのでしょうか？
- (回答) 工事担当の建築課や第三者機関等で内容について審査・検証を行った結果、3か月という見解なので、基本的にはそれを超えることはないと考えています。
- (質問) 工事を行う一般書エリアと児童書エリアは完全に仕切られるのでしょうか。
- (回答) 利用者と工事関係者の動線が重ならないように、間仕切りを設ける予定です。また、利用者は正面入口からは出入りができなくなります。
- (質問) 通常、非常口だったところを出入り口とすると、非常時の避難経路の確保が必要ではないのでしょうか。
- (回答) カウンターの裏側に職員通用口があるので、非常時はそちらに誘導する予定です。
- (質問) 今回の工事は免震なのか、それとも耐震なのでしょうか。
- (回答) 昨年度の耐震診断の結果として、震度7程度の揺れは耐えられるものの、建物の一部で数値が若干不足している部分があったため、今回はそこを補強するための耐震工事

として実施します。

## (2) 平成 30 年度事業計画及び予算案について事務局より報告

- (質問) 図書館たんけん隊をはじめとしたイベントは、広報紙で周知されているのでしょうか。周辺の人たちに、なかなか浸透していないようなので、広報紙でも分かりやすく周知していただきたいです。
- (回答) 広報紙には毎回掲載しているのですが、限られたスペースにさまざまな情報を載せなくてはならないので、どうしても最低限の情報のみになってしまうため、広報紙以外の周知方法も検討していきたいと思います。
- (質問) 工事期間中のイベントは時期をずらすということですが、工事前に行うのか、工事後に行うのか、図書館をもっと利用していただくことを考えるのであれば、工事前に計画していただいたほうがいいのかと思います。
- (回答) 多くの人に来館してもらうためには、工事前で実施すべきか、工事後に実施すべきか、時期については十分に考慮していきたいと思います。

## (3) 蕨市子ども読書活動推進計画について事務局より報告

- (質問) 説明にあったボランティア団体へのアンケートというのは、具体的にどのようなものだったのでしょうか。
- (回答) 各団体の活動状況をはじめ、ボランティア団体が一堂に会する場が提供された場合の参加の有無や、参加した場合にどういったことを話し合いたいかということなどをお聞きしました。今後はこのアンケート結果を基に、ボランティア団体との連携を図っていく予定です。
- (質問) ブックリストはすごくいいと思うのですが、小中学校に何部か届けるということでしょうか。
- (回答) 小中学校には学校図書館教育支援員さんがおりますので、その方たちとどういう配布方法がいいのか相談していきたい。また、保育園にも配布しますが、幼稚園に通うお子さんや園に通っていないお子さんもいると思うので、児童福祉課の窓口にも置きたいと考えているところです。
- (意見) せっかくリストができたので、活用してもらうために、うまく運用していただきたい。
- (回答) まずは、計画延長中に今回のリストを各機関で活用していただくように努めつつ、次期計画時には何か新しいものを取り入れたり、各機関の方たちの意見を織り交ぜたりしながら、よりよいものを作っていきたいと考えています。
- (意見) 学校としては、校内でリストを作るというのは、なかなか難しかったのでよかったのですが、リスト選定までの過程がよく見えてこなかった。5人の学校図書館教育支援員さんが選定したということですが、児童向けとは別に、先生向けに選定の解説を入れたリストがあれば、児童に紹介しやすくなる。また、実際に実物があつたほうが見

童も手に取ると思うので、今回のリストの本を3セット図書館で用意していただければと思う。できれば、そのセットを学校にも提供していただきたいし、難しいようであれば一定期間貸出や団体貸出の中に入れてほしい。

(質問) リストは学校が印刷するのか、それとも図書館が印刷するのでしょうか。

(回答) 配布方法は学校と相談しながらになるが、図書館で印刷することは差し支えありません。

(質問) 私が所属する環境浄化委員会でも推奨図書を選定しているのですが、それらの本は図書館と連携しているのでしょうか。

(回答) 夏休みになると、カウンター脇に読書感想文のコーナーを設けているのですが、そこに全国的に展開している課題図書とともに、推奨図書も並べて借りられるようにしています。

(意見) 今回のリスト作成で、学校図書館教育支援員さんとの連携が図れたので、図書館が中心となって情報交換をする時間をもっと作ってほしい。もう1つは、先月、読み聞かせボランティア団体を対象にした講習会が行われたが、ほかにも、学校ボランティアの方もたくさんいらっしゃるのので、図書館がまとめ役となって、そうした図書に関するボランティアの全体像を把握して、その方たちにも研修の周知をしていただきたい。

(意見) 戸田市では新1年生に向けたブックリストを作って、全員に配布しているので、次のステップとして、蕨も新1年生向けのリストを作り、それを今回のリストに結び付けるような展開もこれから考えてみてはいかがでしょうか。もう1つは、今回のリスト選定に関しては、支援員さんから短い時間でバタバタだったという経緯を聞いたので、もう少し時間に余裕を持って実施してもらいたかったです。三郷市の計画の資料では、将来像や宣言が掲げられていますが、蕨はこうしたことが見えてこないのので、今後は例えば年度ごとに方針や柱を提示すれば、それぞれの取り組みも進めやすいのではないかと思います。

(質問) 中学生に関しては、読ませたい本と子どもたちが面白いと思う本とでギャップがあると思うので、例えば各中学校の図書委員によるおすすめ本コーナーを展示して、それらの本もリストに組み込めば、リストの利用率も上がるのではないのでしょうか。

(回答) たしかに、ワーキングウイークに来た生徒たちのおすすめ本を展示した時は、普段はすぐに2階の読書室に行ってしまう子が立ち止まって見ていることもあったので、子ども目線でのおすすめ本という見せ方も、今後検討していきたいと思います。

(意見) リストの見出しがそれぞれ違うのですが、こうしたテーマを掲げて紹介するのはすごくいいと思います。

(意見) 本校でも低学年は50冊、高学年は5,000ページ読んだ子には、校長室で表彰状を渡していますが、こうした学校の取組と絡めて、このリストはいろんな活用ができると思います。

(意見) せっかく作ったので、有効活用していただきたいと思います。

(意見) 新計画に向けて、延長した2年間は前年踏襲の取り組みだけでなく、よりよいものに変えていただけたらなと思います。

(4) その他の質問について

(質問) 開館時間延長については、どのような結果になったのでしょうか。

(回答) 前回お話をさせていただいたとおり、さまざまな検討を重ねた結果、開館時間を1時間延長するよりも、開館日を増やした方がより多くの皆さんに利用していただけるのではないかとということで、今年度より祝日の月曜日を開館することにしました。これにより今年度は4日間、来年度は5日間、これまでより開館日数が増えることとなります。また、今後も時間延長につきましては、研究をしていく必要があると考えています。

(質問) 平日の開館時間を9時からに早めることは難しいでしょうか。

(回答) 今の職員体制では課題があることから、先ほどのお話と併せて研究していきたいと思っておりますので、ご理解いただければと思います。